

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	現代の国語				
科目コード	1021	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	新編現代の国語（東京書籍）				
担当教員	芦間雄太、八重樫弘子				

目標
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。	「こりそめスープ」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。	「ルリボシカミキリの青」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3		情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。	「未来をつくる想像力」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	情報を整理し、内容や構成に注意して話す。	「気になるニュースについて話そう」 講義、グループワーク	様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。
後期	1		色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。	「無彩の色」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。	「鍋洗いの日々」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3		「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。	「美しさの発見」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	目的や相手に合った分かりやすい説明をする。	「分かりやすい説明をしよう」 講義グループワーク	積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	言語文化				
科目コード	1022	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	新編言語文化（東京書籍）				
担当教員	芦間雄太、八重樫弘子				

目標
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。	「児のそら寝」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		文語の品詞について理解し、登場人物の心情を読み取る。	「用光と白波」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3		文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。	「絵仏師良秀」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。	「古文に親しむ」 講義、グループワーク	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。
後期	1		故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。	「株を守る」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2			「五十歩百歩」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3		漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。	「絶句と律詩」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。	「訓読の基本」 講義グループワーク	進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	論理国語				
科目コード	1023	科目区分	選択	単位数	4
学習教材	新編論理国語（東京書籍）				
担当教員	芦間雄太、八重樫弘子				

目標
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

学習計画					
前期	1		対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。	「対話とは何か」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	「世界をつくり替えるために」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3		慣用句の意味について理解する。	「『ふしぎ』ということ」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	4		事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。	「ラップトップ抱えた『石器人』」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	5		比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。	「思考の肺活量」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	6		文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。	「複数の『わたし』」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	書かれている内容を理解し、「論理的」とはどういうことかを学ぶ。	「論理とは何か」 講義、ワークシート	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。
		2		「論理とは何か」 講義、ワークシート	
	1		タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。	「最初のペンギン」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性和課題について理解を深める。	「かさと生物多様性」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3		二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。	「物語の外から」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	4		アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。	「鏡としてのアンドロイド」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	5		インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深める。	「知識における作者性と構造的性」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	6		二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。	「ホンモノのおカネの作り方」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し、適切に要約する力を養う。	【論理の力】要約する力 講義、ワークシート、探究学習	文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。
		2	・「接続関係」について学び、文章を論理	【論理の力】つなげる力	

		的に理解する力を養う。	講義、ワークシート、探究学習	
--	--	-------------	----------------	--

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	文学国語				
科目コード	1024	科目区分	選択	単位数	4
学習教材	高等学校 標準 文学国語（第一学習者）				
担当教員	芦間雄太、八重樫弘子				

目標
論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		- 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う - 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	「調律師のるみ子さん」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2			「デューク」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3			「生命は」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	4			「そこにひとつの席が」・「食事」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	5			「相棒」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	6			「ナイン」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	- 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 - 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。	「文学とは」 講義、ワークシート、探究学習	人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。
		2		「本屋大賞から学ぼう」 講義、ワークシート、探究学習	
	1		- 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う - 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	「旅する本」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2			「富獄百景」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3			「山月記」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	4			「清兵衛と瓢箪」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	5			「ころ」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	6			「永訣の朝」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。	「ころ」について考える① 講義、ワークシート、探究学習	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、

	2	・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。	「ころ」について考える② 講義、ワークシート、探究学習	展開、描写の仕方などを的確に捉えている。
--	---	------------------------------	--------------------------------	----------------------

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	古典探究				
科目コード	1026	科目区分	選択	単位数	4
学習教材	高等学校 標準 古典探究（第一学習者）				
担当教員	芦間雄太、八重樫弘子				

目標
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、平中の色好みに端を発する滑稽話のおもしろさを味わう。	「平中が事」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		積極的に説話を読み、成範の機転とはどのようなことであったか理解を深めようとしている。	「文字一つの返し」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3		著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。	「小式部内侍が大江山の歌の事」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	4		古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。	「奥山に、猫またといふものありて」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	5		古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。	「ゆく川の流れ」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	6		物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。	「初冠」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。	「ゆく川の流れ」 講義、ワーク	・古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。
		2			
	1		昔話として現代まで継承された話を読み、現実と非現実が入り混じる世界に生きる登場人物の心境を読み取る。	「浦島太郎」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。	「光る君誕生」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3		歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。	「弓争ひ」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	4		晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。	「門出」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	5		軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。	「忠度の都落ち」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	6		著名な作品の女性作者二人を二百年後に批評した文章を読んで、歴史の伝承のしかたの一端に触れる。	「紫式部」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開 内容を的確に捉える	「平家物語」	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。

	2	・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。	講義、ワーク	・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。
--	---	-------------------------------------	--------	-------------------------------

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	地理総合				
科目コード	2011	科目区分	地理歴史	単位数	2
学習教材	教科書『地理総合』（東京書籍）				
担当教員	高橋正浩 村田一恵 野口真敬 末永謙三				

目標
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察した地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考える。 GISが幅広い分野で使われていることについて理解し、私たちの生活への影響を考える。	教科書 第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割 教科書に基づいたレポート学習。	地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けているか。
	1		国境をこえた経済活動や政治的なつながりが、人・モノ・情報などのやり取りに大きく影響を及ぼしていることに着目し、現代世界におけるグローバル化の進展について課題意識をもって考察する。	教科書 第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会 第3章 資料から読み取る現代世界 教科書に基づいた講義。	交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。
	2		通信情報技術（ICT）の発達について理解し、通信網の発達による生活の変化と生じた課題について考える。	教科書 第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様化と国際理解 教科書に基づいたレポート学習。	グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしているか。

	3		地域によって文化が異なる理由について理解する。文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解する。	教科書 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 2節 生活文化と自然環境① 3節 生活文化と自然環境② 4節 生活文化と産業 教科書に基づいたレポート学習。	文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
後期	4		環境問題の発生が、人間の活動によって引き起こされていることを理解し、解決に向けた取り組みを考える。資源・エネルギー問題、人口問題などの世界的課題が自身の生活と密接に関連していることを理解する。	教科書 第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題 3節 人口問題 教科書に基づいたレポート学習。	各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
		2	地球規模で取り組むべき課題が、相互に関連しあっていることを理解する。	教科書 第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 7節 持続可能な社会の実現をめざして 教科書に基づいた講義。	地球規模で起きている課題とさまざまな形で行われている国際協力に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
	5		食糧問題、居住・都市問題などの世界的課題が自身の生活と密接に関連していることを理解する。難民が発生する原因や、民族問題の背景について考える。地球規模で取り組むべき課題が相互に関連しあっていることを理解する。	教科書 第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 4節 食糧問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして 教科書に基づいたレポート学習。	各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。

	6	日本の地形の特徴が河川や海岸の特徴にどのような影響を与えているかを理解する。 これまでの災害の教訓を生かし、自助・共助に関して、どのような対策を講じていくべきかを考える。 身近な地域の情報を得るためのさまざまな手段と注意点を理解する。	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望 教科書に基づいたレポート学習。	日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。
--	---	--	---	---

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を身に付け、考察、構想したことを効果的に説明している。	地理に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	地理探究				
科目コード	2012	科目区分	地理歴史	単位数	4
学習教材	教科書『新詳地理探究』（帝国書院）				
担当教員	高橋正浩	村田一恵	野口真敬	末永謙三	

目標
① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付ける。 ② ①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。 ③ ①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付ける。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
	1		地球規模の大地形や、河川が形成した小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているのかを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 地形 教科書に基づいたレポート学習。	地球規模のさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて追究しようとしている。
	2		気候の違いがどのような要因で生まれるかについて理解し、人々の生活にどのような影響を与えているのを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 2節 気候 教科書に基づいたレポート学習。	気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3	1	地球上に発生している、さまざまな環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいのかを考察する。 農林水産業は、自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきたことと、分布や発達に、どのような傾向や規則性がみられるのかを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題 第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食糧問題 教科書に基づいたレポート学習および講義。	地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
4	2	世界のエネルギー・鉱産資源は、どのようにして生活や産業に利用され、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているのかを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 3節 エネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 教科書に基づいたレポート学習および講義。	エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
5		世界の工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているのかを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 5節 工業 教科書に基づいたレポート学習。	工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

	6		第3次産業の現状について理解する。 交通網や通信網の発達には、傾向や地域性、地域間格差が現れていることについて考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 6節 第3次産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏 教科書に基づいたレポート学習。	第3次産業、交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	7		人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第4章 人口、村落・都市 1節 人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題 教科書に基づいたレポート学習。	人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	8	3	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 民族や宗教の独自性はどのようにとらえることができ、各地にみられる民族問題の背景とどのように関わっているのかについて考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住 2節 民族・宗教と民族問題 3節 国家の領域と領土問題 教科書に基づいたレポート学習と講義。	生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

後 期	9	東アジアの諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。	教科書 第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 1節 中国 2節 韓国 3節 ASEAN諸国 教科書に基づいたレポート学習。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	10	西・中央アジアの諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。	教科書 第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 4節 インド 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 教科書に基づいたレポート学習。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	4	我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。	教科書 第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 教科書に基づいた講義。	持続可能な国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。
	11	ヨーロッパの諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。	教科書 第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 7節 EU諸国 8節 ロシア 教科書に基づいたレポート学習。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

	12	アメリカ、オセアニアの諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。	教科書 第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 9節 アメリカ合衆国 10節 ラテンアメリカ 11節 オーストラリアとニュージーランド 教科書に基づいたレポート学習。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
--	----	--	---	---

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
地理的諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	地理的諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	地理的諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めることができるか。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	歴史総合				
科目コード	2013	科目区分	地理歴史	単位数	2
学習教材	教科書『新選歴史総合』（東京書籍）				
担当教員	高橋正浩 村田一恵 野口真敬 末永謙三				

目標
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を養う。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前	1		18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	教科書 第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国 教科書に基づいたレポート学習。	近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。
		1	中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	教科書 第2章 近代化と私たち 3節 国民国家と明治維新 教科書に基づいた講義。	近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。

期	2		国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	教科書 第2章 近代化と私たち 3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題 教科書に基づいたレポート学習。	近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
	3		第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	教科書 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会 教科書に基づいたレポート学習。	・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
	4		第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	教科書 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 教科書に基づいたレポート学習。	国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。

後 期	2	第二次世界大戦の勃発とその拡大、および日中戦争との結びつきについて理解する。	教科書 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3節 経済危機と第二次世界大戦 教科書に基づいた講義。	第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	5	地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。	教科書 第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済 教科書に基づいたレポート学習。	グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
	6	アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。	教科書 第4章 グローバル化と私たち 3節 世界秩序の変容と日本 教科書に基づいたレポート学習。	グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。

評価

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
--------	--------------	----------------

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
--	--	---

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	日本史探究				
科目コード	2014	科目区分	地理歴史	単位数	4
学習教材	教科書『日本史探究』（東京書籍）				
担当教員	高橋正浩 村田一恵 野口真敬 末永謙三				

目標
① 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ② 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③ 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
	1		旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解し、先史社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	教科書 第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形式と展開 教科書に基づいたレポート学習。	先史・古代の日本と東アジアに関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。

前期	2	1	律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。	教科書 第1編 先史・古代の日本と東アジア 第3章 古代社会の形式と展開 2節 摂関政治と貴族文化 教科書に基づいたレポート学習と講義。	貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。
	3	2	武士の社会進出と平氏政権の誕生、およびその時代の外交と文化の特色について理解する。	教科書 第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 教科書に基づいたレポート学習と講義。	中世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。
	4		鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての幕府と朝廷の動きについて理解する。	教科書 第2編 中世の日本と世界 第3章 中世社会の展開 2節 武家支配の広がりとの国際交流 教科書に基づいたレポート学習。	武家支配の広がりとの国際交流に関わる問いをふまえて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	5		近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、近世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	教科書 第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展望 教科書に基づいたレポート学習。	近世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。

6		幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。	教科書 第3編 近世の日本と世界 第3章 近世社会の展望 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺 教科書に基づいたレポート学習。	18世紀にはどのような社会の変化がみられたのだろうかなどの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。
7		幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 教科書に基づいたレポート学習。	明治維新、文明開化の風潮、学問の発展や教育制度の拡充、自由民権運動などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解している。

後期	8	立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展望 1節 近現代制度の導入と新しい国際秩序 2節 国民国家と資本主義の成立 教科書に基づいたレポート学習。	大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、産業革命の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。
	9	両大戦間期の日本の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展望 3節 両大戦間期の日本 4節 第二次世界大戦と日本 教科書に基づいたレポート学習。	恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治社会、国民生活の変容を理解している。

10	3	「第二次世界大戦と日本」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展望 5節 占領と改革 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 教科書に基づいたレポート学習。	占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解している。
11		近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、現代の政治や社会の枠組みを理解する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展望 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 8節 新しい国際秩序と日本の課題 教科書に基づいたレポート学習。	近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。
12	4	持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究する活動を通して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第4章 現代の日本の課題の探究 教科書に基づいたレポート学習と講義。	先史・古代、中世、近世、近現代の学習を振り返り、自身との関わりをふまえて、持続可能な社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。

評価

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
--------	--------------	----------------

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切に効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
--	--	---

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	世界史探究				
科目コード	2015	科目区分	地理歴史	単位数	4
学習教材	教科書『世界史探究』（東京書籍）				
担当教員	高橋正浩 村田一恵 野口真敬 末永謙三				

目標
① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
	1		各地域の古代文明について、その共通点や相違点、それらが自然環境とどのように関係しているかなどについて理解する。 西アジアと地中海周辺の国家がどのように影響を及ぼしあい、どのような共通点をもっているかについて理解する。	第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺 教科書に基づいたレポート学習。	「古代文明の出現」・「西アジアと地中海周辺」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	2		南アジア地域を特徴づける「多様ななかの統一」とはどのようなことなのかなどについて理解する。東南アジア地域における国家形成が交易や思想・文化とどのように関係しているのかなどについて理解する。	第1編 諸地域の歴史的特質 第3章 南アジア 第4章 東南アジア 教科書に基づいたレポート学習。	「南アジア」・「東南アジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

前期	3	1	東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか、また古代国家の誕生と発展が社会と文化に与えた影響や、それによって生みだされた地域の特色について理解する。 ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について、自然環境との関わりに注目しながら理解する。	第1編 諸地域の歴史的特質 第5章 東アジアと中央ユーラシア 第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ 教科書に基づいたレポート学習および講義。	「東アジアと中央ユーラシア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について、自然環境との関わりに注目しながら、学習への見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	4		アジア・アフリカの広大な地域が、イスラーム文明圏としてまとまった理由などについて理解する。 9世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパ世界ではどのような政治、経済、社会、文化の変動がおこったのか、また、それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されていったのかなどについて理解する。	第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ 教科書に基づいたレポート学習。	「イスラーム世界の拡大と繁栄」・「中世ヨーロッパ」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	5		歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国はどのようにして生まれ、どのように世界を結びつけたのかなどについて理解する。 インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりが一様でなかった要因などについて理解する。	第2編 諸地域の交流と再編 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化	「中華世界の変容とモンゴル帝国」・「インド洋海域世界の発展と東南アジア」・「大交易時代と世界の一体化」の内容に対して 見通

	6	2	16 世紀から 18 世紀にかけて、アジア諸地域に成立した諸帝国が比較的安定した社会を維持できたのはなぜか、また経済的繁栄はどのようにもたらされたのかなどについて理解する。 16 世紀から 17 世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家には	第 2 編 諸地域の交流と再編 第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 教科書に基づいたレポート学習および講義。	「ユーラシア諸帝国の繁栄」・「主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	7		18 世紀半ばから 19 世紀半ばにかけて、欧米で産業革命や、国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか、また、このような変革は、現代までどのような影響を与えているのかについて理解する。	第 3 編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成 教科書に基づいたレポート学習。	「国民国家と近代社会の形成」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	8		産業革命で先行したイギリスが 19 世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し、後発のヨーロッパ諸国はどのように対応したのか、また、ヨーロッパ発の工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかについて理解する。 アジア諸国が自国の危機をどのように	第 3 編 一体化していく世界 第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 教科書に基づいたレポート学習。	「世界市場の形成とアジア諸国の変容」・「アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
後期	9		第一次世界大戦は、なぜ「世界大戦」とよばれ、それまでの戦争とどのような点において異なるのか、そして、それぞれの地域において戦争の経験はどのような意味をもったのかなどについて理解する。 世界恐慌は、経済や政治をどのようにに変化させたのか、また、その	第 3 編 一体化していく世界 第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 教科書に基づいたレポート学習。	「第一次世界大戦の展開と諸地域の変容」・「国際協調体制の動揺と第二次世界大戦」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	10	3	第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と実際のアジアの戦後は、どのような点が連続し、あるいは異なっていたのかについて理解する。	第 3 編 一体化していく世界 第19章 第二次世界大戦と戦後のアジア 教科書に基づいたレポート学習および講義。	「第二次世界大戦と戦後のアジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

	11		冷戦のもとで、世界の平和はどのように模索されたのか、また、冷戦は世界に広がるなかで、それぞれの地域でどのような意味をもったのかについて理解する。 冷戦の変容にともない、アメリカ合衆国の経済覇権はどのように動揺したのか、また、その後が生じた経済	第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 教科書に基づいたレポート学習。	「冷戦の世界化と国際制度」・「冷戦の変容・終結と経済のグローバル化」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	12	4	21世紀に入り、地球上ではどのような問題が生じ、人類社会はどのような課題に直面し、それを克服しようとしているのかについて、これまでの歴史をふまえ、その課題に取り組む当事者として考える。	第4編 グローバル化と地球的課題 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会 教科書に基づいたレポート学習および講義。	「21世紀の地球的課題と人類社会」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	公共				
科目コード	3011	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	公共（東京書籍）				
担当教員	川井 寛樹、文元 友美子、池田峰一				

目標
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		社会のなかの自己について理解し公共的な空間が作れるようにする。	教科書を基にしたレポート学習	協働をもたらす方法について考察することができているか。
		1	身近な「自由」と「不自由」から自由権と公共の福祉を考え自分の生活に活かす。	学校・家庭における自由と不自由を感じる場面を想起しグループワークで意見を共有する。自由権についてワークシートに記入する。まとめを発表する。	自由権を通して誰もが生きやすい社会とは何かを考察することができているか。
	2		共に生きるための倫理について理解し公共的な空間における人間としてのあり方や生き方を考える。	教科書を基にしたレポート学習	メディアの特徴と問題点について2つのリテラシーから考察することができているか。
		2			
	3		私たちの民主的な社会と公共的な空間における基本的原理について理解する。	教科書を基にしたレポート学習	法や規範の意義と役割について考察することができているか。
		3			
後期	4		民主政治について理解し政治参加について考える。	教科書を基にしたレポート学習	消費者トラブルにあわないようにするための方法について考察することができているか。
		1	自立した消費者としてどのような行動をすべきかを考え自分の生活に活かす。	契約トラブルを想起しグループワークで意見を共有する。消費者保護を目的とした特別法についてワークシートに記入する。まとめを発表する。	消費者の権利と責任について考察することができているか。
	5		法の働きについて理解し法がわたしたちの生活にどのように関わるのか考える。	教科書を基にしたレポート学習	技術革新が進むなか、何を大切にして職業生活をおくるべきかを考察することができているか。
		2			
	6		公正で自由な経済活動のために政府の役割はどうあるべきかを考える。	教科書を基にしたレポート学習	SDGsの観点からよりよく生きるために自分なりの課題を見出すことができているか。
		3			

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

令和6年度 学習指導計画

授業科目名	数学Ⅰ				
科目コード	4031	科目区分	必修	単位数	4
学習教材	数研出版 数Ⅰ/716				
担当教員	石川憲太郎、北川正朗、荒蒔光代				

目標
数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
		1	【2次関数】 対応表を利用して，2次関数のグラフをかくことができる。	2次関数の変化がみつかった歴史的ないきさつを紹介する。 時間と移動距離など2つの数量の関係を関数の式で表現する。対応表から変化のしかたを観察させる。	xに0,1,2と代入して、yの値を一つ一つ導く。また、その変化しかたに気づく。
		2	2次関数の頂点が、関数の最小値と関係があることに気づく。2次関数を $y=(x-p)^2+q$ に変形することでグラフが描けることを学ぶ	2次関数の式を平方完成するまでの過程のなかで、選択問題形式で発問して能動的に予想を立てさせる。	展開したことを想像し、平方完成の形をつくることができる。
	1		【数と式】 式を，目的に応じて1つの文字に着目して整理できる。	四則演算や分数の計算を復習し、文字を使った計算も同じ法則で行うことを学ぶ。	式を見て、計算の順序立てをしながら計算ができる。
	2		○展開の公式を利用できる。 ○因数分解の公式を利用できる。	式の展開と分配法則の関係を考察することができる。 展開された整式をもとの形に戻す因	展開が分配法則を複数回行っていることに気づく。因数分解にも、くく

前期	4			数分解の方法に気づく。	りだしとたすき掛けを使う場面があることに気付く。
	3	【平方根】 ○平方根の意味を理解している。○根号を含む式の加法，減法，乗法の計算ができる。 ○分母を有理化することができる。		2乗して4になる数は求められるが、2乗して5になる数は整数では求められないことから、新たな記号、 $\sqrt{\quad}$ が生まれ、工夫して計算をすることができることを学ぶ。	平方根の計算では、性質を理解できること。 素因数分解を利用すると、 $\sqrt{\quad}$ の中の数が簡単な数になることに気づく。
	4	【1次不等式】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。		両辺におなじものを足しても引いても天秤のはかりのように、不等号の向きが変わらないことを理解する。 正の数を掛けても不等号の向きが変わらないことを経験から理解できる。	買い物でいくつまで買うことが出来るかを不等式を用いて表すことができ、解くことができる。
	5	【2次関数】 2次関数でもxの値によってyが対応することはわからないことに気づく。		1次関数の変化のしかたと2次関数の変化の仕方に違いがあることに気づく。 平方完成のしかたについて、計算方法を定着するよう演習する。	平方完成のしかたについて、計算方法を定着させ、できるようになる。
	6	2次関数の値の変化について理解し、具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。次に、2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用		2次不等式は2次方程式を解くことで、2次方程式の解が2次関数のグラフのx軸との共有点と同じものだというように気づく。	2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。

			いて次不等式の解を求められる。		
		1	【図形と計量】 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	○三角比は、角度によって定まる直角三角形の辺の比であることに気づく。 ○測量の問題に三角比を活用することができる。	直角三角形において、 $\sin \cdot \cos \cdot \tan$ を求めることができる。
		2	【集合と命題】 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	日常での部活動や生徒会などから集合を理解する。集合の共通部分や和集合について理解する。	ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる
		7	三角比の意味やその基本的な性質	直角三角形の大きさに関係なく形が同じであれば、相互の辺の比は変わらないことに気づく。	直角三角形において、 $\sin \cdot \cos \cdot \tan$ を求めることができる。 $30^\circ \ 45^\circ \ 60^\circ$ の三角比を求める。
		8	【鈍角の三角比】	後方にロケットを打ち上げることで、鈍角の三角比が日常に存在することを知る。直角三角形の三角比を用いて求めることができる。	鋭角の場合と異なり、鈍角の三角比が座標を利用して定義される理由に

				関心をもち、考察しようとする。
9		【三角比の相互関係】	直角三角形の性質に関係し、（１） $\sin \theta^2 + \cos \theta^2 = 1$ （２） $\tan \theta = \sin \theta / \cos \theta$ などの相互関係に気づく。	三角比の相互関係を利用して、ほかの三角比を求めることができる。
10		【正弦定理】 【余弦定理】 図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。	○三角形の頂点から対辺に下ろした垂線の長さを、三角比を用いて表現し、正弦定理を導くことができる。 ○余弦定理を利用して、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。	場面に応じて、正弦定理を使ったり、余弦定理を使ったりできる。
11		【集合と命題】 集合に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	集合の定義を日常の部活動や生徒会に当てはめて考察する。	（１）集合を、要素を書き並べて表すことができる。 （２）共通部分、和集合、空集合について理解している。（３）２つの集合の包含関係を判定することができる。全体集合、補集合について理解している。
12		命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	集合を利用して、命題の必要条件、十分条件などを判定することを学ぶ。	必要条件、十分条件、必要十分条件について、適切に判定することができる。

	上				
--	---	--	--	--	--

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
数と式，図形と計量，次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

令和6年度 学習指導計画

授業科目名	数学Ⅱ				
科目コード	4032	科目区分	選択	単位数	4
学習教材	数研出版 新高校の数学Ⅱ 数Ⅱ/719				
担当教員	石川憲太郎、北川正朗、荒蒔光代				

目標
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
		1	【複素数と方程式】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。	○3次式の展開の公式を利用させる。 ○3乗に関わる展開の公式を自ら導かせる。	○3次式の展開の公式を利用できる。 ○3乗に関わる展開の公式を自ら導こうとする。
		2	【指数関数】 指数を実数まで拡張する意義を理解し，指数関数を事象の考察に活用できるようにする。	○指数が正の整数の場合に，指数法則を用いた計算をさせる。 ○ $a^m \div a^n$ を $a^m \times a^{-n}$ として処理させる。	○指数が正の整数の場合に，指数法則を用いた計算をすることができる。 ○ $a^m \div a^n$ を $a^m \times a^{-n}$ として処理することができる。
	1		【複素数と方程式】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。	○3次式の展開の公式を利用させる。 ○3乗に関わる展開の公式を自ら導かせる。	○3次式の展開の公式を利用できる。 ○3乗に関わる展開の公式を自ら導こうとする。
	2		【複素数の方程式】 数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の計算ができるようにする。また，複素数を用いて，	○負の数の平方根を理解し， i を用いて処理させる。 ○複素数の加法，減法，乗法の計算をさせる。	○負の数の平方根を理解し， i を用いて処理することができる。

前期	4	2次方程式やその解についてより一般的に考察できるようにする。		○複素数の加法，減法，乗法の計算ができる。
	3	【図形と方程式】 座標や式を用いて，直線の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	○数直線上において，2点間の距離を求めさせる。 ○数直線上において，線分の内分点，外分点の座標を求めさせる。	○数直線上において，2点間の距離を求めることができる。 ○数直線上において，線分の内分点，外分点の座標を求めることができる。
	4	【円の方程式】 座標や式を用いて，円の性質や関係を数学的に表現し，それらの有用性を認識する。また，図形を，与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに，不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し，事象の考察に活用できるようにする。	○中心の座標と半径から円の方程式を求めさせる。 また，円の方程式から中心の座標と半径を求め，円をかかせる。	○中心の座標と半径から円の方程式を求めることができる。また，円の方程式から中心の座標と半径を求め，円をかくことができる。
	5	【不等式と領域】 座標や式を用いて，円の性質や関係を数学的に表現し，それらの有用性を認識する。また，図形を，与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに，不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し，事象の考察に活用できるようにする。	○直線を境界線とする領域を図示させる。 ○円を境界線とする領域を図示させる。	○直線を境界線とする領域を図示することができる。 ○円を境界線とする領域を図示することができる。
	6	【三角比の復習と三角関数】 角の概念を一般角まで拡張して，三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	○直角三角形において，正弦・余弦・正接を求めさせる。 ○三角比の相互関係を利用して，三角比の1つの値から残りの2つの値を求めさせる。	○直角三角形において，正弦・余弦・正接を求めることができる。 ○三角比の相互関係を利用して

	6				比を用いて、一般角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。
		1	【三角関数】 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	○三角関数の値を、三角関数の定義によって求めさせる。 ○三角関数の相互関係を理解し、それを利用して、1つの値から残りの2つの値を求めさせる。	○三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。 ○三角関数の相互関係を理解し、それを利用して、1つの値から残りの2つの値を求めることができる。
		2	【対数関数】 対数の定義とその性質を理解し、対数関数や常用対数を事象の考察に活用できるようにする。	○指数と対数とを相互に書き換えさせる。 ○対数の性質を利用して、種々の対数の値の計算をさせる。	○指数と対数とを相互に書き換えることができる。 ○対数の性質を利用して、種々の対数の値の計算ができる。
		7	【三角関数】 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	○一般角を動径とともに考察させる。 ○三角関数の値を、三角関数の定義によって求めさせる。	○一般角を動径とともに考察することができる。 ○三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。
	8		【三角関数】 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察で	○加法定理を利用して、三角関数の値を求めさせる。 ○弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算をさせる。	○加法定理を利用して、三角関数の値を求めることができる。

	8	きるようにする。		○弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。
	9	【指数関数】 指数を実数まで拡張する意義を理解し、指数関数を事象の考察に活用できるようにする。	○累乗根の定義を理解し、累乗根の計算をさせる。 ○累乗根を含む計算では、分数の指数を利用して計算させる。	○累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。 ○累乗根を含む計算では、分数の指数を利用して計算することができる。
	10	【対数関数】 対数の定義とその性質を理解し、対数関数や常用対数を事象の考察に活用できるようにする。	○指数と対数とを相互に書き換えるさせる。 ○対数の性質を利用して、種々の対数の値の計算させる。	○指数と対数とを相互に書き換えることができる。 ○対数の性質を利用して、種々の対数の値の計算ができる。
	11	【微分法】 微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	○平均変化率の定義を理解し、それを求めさせる。 ○極限値を計算して微分係数を求めるとき、分母の h は0でないことを理解させる。 ○定義に基づいて導関数を求める方法を理解させる。	○平均変化率の定義を理解し、それを求めることができる。 ○極限値を計算して微分係数を求めるとき、分母の h は0でないことを理解している。 ○定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。
	12	【積分法】 不定積分や定積分について理解し、それらの有用性を認識するとともに、定積分を用いてグラフで囲まれた図形の面積が求められるようにする。	○不定積分の定義や性質を理解し、不定積分を計算させる。 ○定積分の定義や性質を理解し、定積分を計算させる。	○不定積分の定義や性質を理解し、不定積分を計算することができる。 ○定積分の定義や

	と	る。			性質を理解し、定積分を計算することができる。
--	---	----	--	--	------------------------

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

令和6年度 学習指導計画

授業科目名	数学A				
科目コード	4034	科目区分	選択	単位数	2
学習教材	数研出版 数A/716 新 高校の数学A				
担当教員	石川憲太郎、北川正朗、荒蒔光代				

目標
図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
		1	【場合の数】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	学校に行く行き方や、食堂でのメニューにドリンクのバリエーションを加えることで、いくつものパターンが生まれることに気づき、計算の仕方を学ぶ。 また、組合せは順列の並びの中に、構成要素が同じダブリがあることに気づく。	樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで，場合の数をもれなく重複なく数えることができる。 順列の意味を理解し，公式を利用することができる。 組合せの総数と順列の総数の関係を理解し，順列の総数をもとにして，組合せの総数を考察することができる。
	1		【集合と要素の個数】 【場合の数】 【順列】 場合の数を扱ううえで、数え上げのなかで、集合と要素の個数を理解していると、理解しやすいため、集合と要素の個数を先に学ぶ。	○または×が出る場合の数を求める際に、集合の和集合を求めるように両方数え上げることを学ぶ。 全体集合－集合A＝「Aの補集合」の考えを理解する。 AかつBの集合を最小公倍数ととらえることができる。	共通部分，和集合，空集合，全体集合，補集合など集合に関する用語を理解し，それらを求めることができる。 積の法則、順列に

前期	1			場合の数は、数え上げが大切であるが、工夫して、掛け算を用い求めることができることを学ぶ。	ついて計算ができる。
	2		【組合せ】構成要素が同じものは1つにすることを意識して数え上げる	組合せは、順列のなかで、構成要素が同じものを見つけ重複を取って求めることができると理解し、組合せの計算を学ぶ。	m個の異なるものからn個を取り出す組合せを求める計算ができる。
	3		【事象と確率】 確率の意味と確率を求めるときの基本的な法則や考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	さいころやコインなどを投げて、特定の事象の起こる確率を、「特定の事象の起こる場合の数」/「すべての場合の数」で求めることを理解する。	すべての場合の数と、特定の事象の場合の数をそれぞれ求めることが出来、式に当てはめることが出来る。
			【平面図形】 平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	三角形の相似と相似比から角の二等分線と線分の比の定理を学ぶ。 円周角と中心角の性質について学ぶ。	線分の長さを相似の考えを用いて、求めることができる。 円周角の定理を応用して、内接四角形の角を求めることが出来る。

後 期				
	4	【平面図形】 平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	三角形の相似を利用した、角の二等分線と線分の比の定理を学び、円周角の定理について理解する。	三角形や円など共通している図形では、必ず成り立つ性質があることに気づく。
	5	【平面図形】 平面図形の性質についての理解をさらに深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	接線と弦の作る角、方べきの定理などの定理を理解する。	方べきの定理を使い、未知な辺の長さを求めることができる。 相似の考えから、方べきの定理が導かれることを学び、便利な計算ができることに気づく。

	6	【約数と倍数】 【ユークリッドの互除法】 【2進法】 数学的活動を通して理解を深め、それらを事象の考察に活用し、数学により興味をもってもらえるようにする。	約数について、理解をし、素因数分解で求める方法以外に、最大公約数を求める方法があることを学ぶ。 2進法で表された数を10進法で表すことを学ぶ。 10進法で書かれた数を2進法で表すことを学ぶ。	互除法によって最大公約数が得られる。 2進法で標記されることで、コンピュータとの接点に気づく。
--	---	---	--	---

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見だし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見だし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

令和6年度 学習指導計画

授業科目名	数学B				
科目コード	4035	科目区分	選択	単位数	2
学習教材	数研出版 新高校の数学B 数B/714				
担当教員	石川憲太郎、北川正朗、荒蒔光代				

目標
数列，統計的な推測について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と社会生活の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
		1	【数列とその和】 簡単な数列とその和について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	○数列の定義や表記および，初項や末項といった数列の用語について理解させる。 ○等差数列の公差や一般項を理解し，一般項や特定の項の値を求めさせる。 ○等比数列の公比や一般項を理解し，一般項や特定の項の値を求めさせる。	○数列の定義や表記および，初項や末項といった数列の用語について理解している。 ○等差数列の公差や一般項を理解し，一般項や特定の項の値を求めることができる。 ○等比数列の公比や一般項を理解し，一般項や特定の項の値を求めることができる。
	1		【数列とその和】 簡単な数列とその和について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	○数列の定義や表記および，初項や末項といった数列の用語について理解させる。 ○等差数列の公差や一般項を理解し，一般項や特定の項の値を求めさせる。 ○等差数列の和の公式を適切に利用	○数列の定義や表記および，初項や末項といった数列の用語について理解している。 ○等差数列の公差や一般項を理解し，一般項や特定の項の値を求める

前期	1			することで、数列の和を求めさせる。	ことができる。 ○等差数列の和の公式を適切に利用することで、数列の和を求めることができる。
	2		【数列とその和】 簡単な数列とその和について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○等比数列の公比や一般項を理解し、一般項や特定の項の値を求めさせる。 ○等比数列の和の公式を適切に利用することで、数列の和を求めさせる。	○等比数列の公比や一般項を理解し、一般項や特定の項の値を求めることができる。 ○等比数列の和の公式を適切に利用することで、数列の和を求めることができる。
	3		【統計的な推測】 確率変数とその分布について理解し、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。	○確率の基本的な性質を理解し、基本的な場合について確率を求めさせる。 ○確率変数と確率分布について理解し、確率分布を表に表す。 ○確率変数の期待値を求めさせる。	○確率の基本的な性質を理解し、基本的な場合について確率を求めることができる。 ○確率変数と確率分布について理解し、確率分布を表に表すことができる。 ○確率変数の期待値を求めることができる。
	1		【数学と社会生活】 ごみの量の推定、自転車シェアリング、電気料金と省エネルギー、平均気温、標高と気温、自転車が止まるまでの距離といった社会生活における話題について、数学的活動を通して理解を深め、それらを事象の考察に活用することで、数学の有用性を	○全体のごみの量を推定するのに、一部を仮定し、その仮定の値を利用することで求めさせる。 ○自転車シェアリングについて、それぞれの状況に応じたサイクルポートの自転車の台数を求めさせる。	○全体のごみの量を推定するのに、一部を仮定し、その仮定の値を利用することで求めることができる。 ○自転車シェアリングについて、そ

後 期		感じてもらえるようにする。		それぞれの状況に応じたサイクルポートの自転車の台数を求めることができる。
	4	【数学と社会生活】 ごみの量の推定，自転車シェアリング，電気料金と省エネルギー，平均気温，標高と気温，自転車が止まるまでの距離といった社会生活における話題について，数学的活動を通して理解を深め，それらを事象の考察に活用することで，数学の有用性を感じてもらえるようにする。		○全体のごみの量を推定するのに，一部を仮定し，その仮定の値を利用することで求めることができる。 ○自転車シェアリングについて，それぞれの状況に応じたサイクルポートの自転車の台数を求めることができる。
	5	【数学と社会生活】 ごみの量の推定，自転車シェアリング，電気料金と省エネルギー，平均気温，標高と気温，自転車が止まるまでの距離といった社会生活における話題について，数学的活動を通して理解を深め，それらを事象の考察に活用することで，数学の有用性を感じてもらえるようにする。	○電化製品の商品カタログの表示内容から，消費電力量や電気料金を求めさせる。 ○電化製品にかかる費用を，グラフを用いることで比較し，考察させる。	○電化製品の商品カタログの表示内容から，消費電力量や電気料金を求めることができる。 ○電化製品にかかる費用を，グラフを用いることで比較し，考察することができる。

	6	【数学と社会生活】 ごみの量の推定，自転車シェアリング，電気料金と省エネルギー，平均気温，標高と気温，自転車が止まるまでの距離といった社会生活における話題について，数学的活動を通して理解を深め，それらを事象の考察に活用することで，数学の有用性を感じてもらえるようにする。	○2乗に比例する関数を用いて，速さと制動距離の関係式を求めることができる。また，その関係式を用いて必要な値を求めさせる。 ○いろいろな場合の制動距離，空走距離や停止距離について考察させる。	○2乗に比例する関数を用いて，速さと制動距離の関係式を求めることができる。また，その関係式を用いて必要な値を求めることができる。 ○いろいろな場合の制動距離，空走距離や停止距離について考察することができる。
--	---	---	--	---

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

令和6年度 学習指導計画

授業科目名	数学C				
科目コード	4036	科目区分	選択	単位数	2
学習教材	数研出版 最新数学C 数C/711				
担当教員	石川憲太郎、北川正朗、荒蒔光代				

目標
ベクトル，平面上の曲線と複素数平面について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
		1	【ベクトル】 ベクトルの基本的な概念について理解し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	○有向線分とベクトル，ベクトルの表記について理解させる。 ○有向線分で表されたベクトルについて，和，差，実数倍を考察させる。 ○座標平面上のベクトルの成分を読み取り，その大きさを求めさせる。	○有向線分とベクトル，ベクトルの表記について理解している。 ○有向線分で表されたベクトルについて，和，差，実数倍を考察できる。 ○座標平面上のベクトルの成分を読み取り，その大きさを求めることができる。
	1		【ベクトル】 ベクトルの基本的な概念について理解し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	○有向線分とベクトル，ベクトルの表記について理解させる。 ○ベクトルの向き，相等について理解させる。 ○ベクトルの加法，減法，実数倍の	○有向線分とベクトル，ベクトルの表記について理解している。 ○ベクトルの向き，相等について理解している。

前期	+			計算の仕組みを理解させる。	○ベクトルの加法，減法，実数倍の計算の仕組みを理解している。
	2		【ベクトル】 ベクトルの基本的な概念について理解し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	○有向線分表示されたベクトルを，2つのベクトルの和，差に表現させる。 ○座標平面上のベクトルの成分を読み取り，その大きさを求めさせる。 ○ベクトルの大きさとなす角から，内積を求めさせる。	○有向線分表示されたベクトルを，2つのベクトルの和，差に表現できる。 ○座標平面上のベクトルの成分を読み取り，その大きさを求めることができる。 ○ベクトルの大きさとなす角から，内積を求めることができる。
	3		【複素数平面】 複素数平面について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	○複素数平面について理解させる。 ○複素数の絶対値の定義を理解し，複素数の絶対値を求めさせる。 ○複素数平面上において，2点間の距離を求めさせる。	○複素数平面について理解している。 ○複素数の絶対値の定義を理解し，複素数の絶対値を求めることができる。 ○複素数平面上において，2点間の距離を求めることができる。
			【複素数平面】 複素数平面について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	○複素数平面について理解させる。 ○複素数の絶対値の定義を理解し，複素数の絶対値を求めさせる。 ○複素数平面上において，2点間の	○複素数平面について理解している。 ○複素数の絶対値の定義を理解し，複素数の絶対値を

後 期		+		距離を求めさせる。	求めることができる。 ○複素数平面上において、2点間の距離を求めることができる。
	4		【式と曲線】 2次曲線について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○焦点と準線が与えられたとき、放物線の方程式を求めさせる。 ○放物線の方程式から、焦点、準線などを求めさせる。	○焦点と準線が与えられたとき、放物線の方程式を求めることができる。 ○放物線の方程式から、焦点、準線などを求めることができる。
	5		【数学的な表現の工夫】 日常の事象や社会の事象などを、図、表、統計グラフ、離散グラフや行列などを用いて工夫して表現することの意義について理解するとともに、事象を考察する力を養う。	○日常の事象や社会の事象などを、図、表、統計グラフなどを用いて工夫して表現することの意義を理解させる。	○日常の事象や社会の事象などを、図、表、統計グラフなどを用いて工夫して表現することの意義を理解している。
	6		【数学的な表現の工夫】 日常の事象や社会の事象などを、図、表、統計グラフ、離散グラフや行列などを用いて工夫して表現することの意義について理解するとともに、事象を考察する力を養う。	○図、表、統計グラフなどを用いて、日常の事象や社会の事象などを数学的に表現し、考察させる。 ○ABC分析について興味・関心を持ち、他の分析手法について調べさせる。	○図、表、統計グラフなどを用いて、日常の事象や社会の事象などを数学的に表現し、考察することができる。 ○ABC分析について興味・関心を持ち、他の分析手法について自ら調べようとする。

評価

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
--------	--------------	----------------

ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
---	---	---

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	物理基礎				
科目コード	5042	科目区分	理科	単位数	2
学習教材	東京書籍「新編物理基礎」(物基702)				
担当教員	本井・荒蒔・後藤				

目標
物体の運動と様々なエネルギーに関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1	1	物理学を学習する上で必要な物理量の表し方や測定における不確かさ，測定値の扱い方，有効数字の計算や科学表記の方法を理解する。	物理量の測定と扱い方について学ばせる。	物理学を学習する上で必要な物理量の表し方を理解できる
			等速直線運動のx-tグラフやv-tグラフの特徴について理解する。	等速直線運動や加速度について学ばせる。	等速直線運動のx-tグラフやv-tグラフの特徴について理解できる。
	2	2	物体にはたらく力，物体に生じる加速度，物体の質量についての関係（運動の法則）と運動方程式について理解する。	等加速度直線運動・自由落下・投げ下ろし・投げ上げについて学ばせる。	運動方程式について理解できる。
		3	力学的エネルギーの変化と仕事の関係について理解する。	力（身の回りの力・力のつり合い・運動方程式・重力の大きさ）について学ばせる。	力学的エネルギーの変化と仕事の関係について理解できる。
	3	4	力学的エネルギー保存の法則について理解を深める。	仕事・仕事率・エネルギーについて学ばせる。	力学的エネルギー保存の法則について理解できる。
後期	4	1	ブラウン運動を観察し，熱運動について理解を深める。	熱について学ばせる。	ブラウン運動を観察し，熱運動について理解ができる。
		2	自然現象の波や，人が作るウェーブをもとに，波とは何か考える。	波について学ばせる。	自然現象の波や，人が作るウェーブをもとに，波とは何か考えることができる
	5	3	電流の大きさの表し方と，電流の向きと電子の移動の向きの関係を	電気について学ばせる。	電流の大きさの表し方と，電流の向きと電子の移動の向きの関係を理解できる
		4	エネルギーが何をすることができるのか理解する。	エネルギーとその利用について学ばせる。	エネルギーが何をすることができるのか理解することが出来る。
	6		SDGs などについて調べ，持続可能な社会の実現について考える。	エネルギーとその利用について学ばせる。	SDGs などについて調べ，持続可能な社会の実現について考えることができる

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	化学基礎				
科目コード	5044	科目区分	選択必修	単位数	2
学習教材	2東書 化基 702				
担当教員	本井・荒蒔・後藤				

目標

(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。(2)観察実験などを行い科学的に探求する力を養う。(3)物質とその変化に主体的に関わり科学的に探求しようとする態度を養う。

3

学習計画

前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期		1	化学と人間生活の関わりについて関心を高めさせる。	生活の中で化学がどのように活かされているかを調べ、化学の学習を始める。	日常生活の中の様々なものに興味を持てる。
	1		化学が人間生活に重要な役割を果たしていることを理解し、物質を探求する方法を身に付けさせる。	物質の性質を調べるために、物質の分類や分離・精錬法を理解させる。	混合物と純物質の違い、混合物の分離と精製を理解する。
	2	2	物質の構成元素を知り、単体と化合物に分類する。物質の三態について知る。	身近な物質について目を向け、化学的な考察をさせる。	単体と化合物・個体と液体、気体について理解する。
	3	3	原子の構造について知る。	原子の電子配置のモデルを考えると原子の構造を理解する。	原子の構造と電子配置について考えることができる。
		4	原子の電子配置と関係が深い3種の化学結合について理解させる。	それぞれの化学結合についてどのような結びつきなのか模型から理解する。	価電子が物質の性質に影響していることが理解できる。
後期	4	1	相対質量や物質質量を利用してきわめて小さな原子の質量を扱いやすくさせる。	物質をつくる粒子の量や濃度について物質質量を用いて表せるようにする。	物質について微視的な見方ができる。
		2	化学変化における物質の量的関係を表す方法などについて理解させる。	化学変化における量的関係を物質質量により理解させる。	化学変化を化学反応式で表しその仕組みを考えることができる。
			物質質量と気体の体積の関係について理解させる。		物質の量と体積、質量の関係をアボガドロ定数と関連付けて考えられる。
	5	3	酸と塩基の性質や反応について理解させる。	身近な物質を酸とアルカリに分け、それぞれの性質を理解させる。	酸と水素イオン、塩基と水酸化物イオンとの関係がわかる。
	6	4	代表的な化学反応の1つである酸化還元反応の仕組みや利用例について理解させる。	身のまわりにある電池などの酸化還元反応を知る。	酸化還元反応の仕組みを理解し、人間生活において身近に起こっていることを理解する。

評価

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
物質とその変化に関する概念や原理・法則を理解できる。科学的に探求するために必要な技能が身につく。	物質とその変化に関わる基礎的な力を持ち、科学的に探求する思考力・判断力・表現力が身につく。	日常生活や社会との関連を図りながら、化学が科学技術に果たす役割について認識を深める。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	生物基礎				
科目コード	5046	科目区分	選択必修	単位数	2
学習教材	2束書 生基 702				
担当教員	本井・荒蒔・後藤				

目標
(1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。(2)観察実験などを行い、科学的に探求する力を養う。(3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1	1	生物の多様性と共通性の視点を身に付けさせ、生物の体を構成する共通の基本単位である細胞について理解させる。	生物は多様でありながら共通性を持っていることを理解し細胞および生物の構造について学ばせる。	多様な生物の共通点がわかる。細胞小器官の名称と働きを理解する。
	2	2	生物に共通する特徴としてのエネルギーの利用について理解する。	植物でも呼吸する事、光合成によって有機物が作られることを知る。	全ての生物に共通する特徴を理解することで自分も地球の生物の一員であることを理解する。
		3	遺伝情報をになう物質としてのDNAの特徴について理解させる。	DNAの二重らせん構造と塩基の相補性の重要性から遺伝について学ばせる。	DNAの二重らせん構造と塩基の相補性が理解できる。遺伝情報の複製が理解できる。
		4	遺伝情報とタンパク質の合成について理解させる。	ヒトの体の様々なタンパク質を知り、その成り立ちについて知る。	DNAの遺伝情報からタンパク質が合成されることを理解できる。
	3		体内環境の恒常性に関心を持たせ、体液の成分、体液の働き、循環に興味を持たせる。	生物の体内環境が一定に保たれていること、体内環境とは体液の環境であることを理解させる。	体内環境が一定に保たれている事が重要であることが理解できる。
後期	4	1	病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を守る仕組みを理解させる。	病原菌などの異物の認識、排除して体内環境を守る仕組みに関わる細胞について考えさせる。	免疫とそれに関わる細胞の働きについて調べようとする。
		2	体液性免疫と細胞性免疫のそれぞれの仕組みの違いを理解させる。	抗原が侵入した後の抗体産生反応の経過を体液性免疫と細胞性免疫に分けて説明する。	免疫の仕組みに関心を持ち、予防接種や感染症に対する知識が深まる。
	5	3	陸上の植生が移り変わっていくこととその要因を理解させる。	近所の空き地が放置されると、10年後50年後100年後どうなるか考えさせ、想像できるようにする。	植生の変化に注目し、その要因に関心を持つ。
			気候に適応した様々なバイオームが成立していることとその特徴を理解させる。		各バイオームの特色を理解し、代表的な生き物がわかる。
	6	4	生態系のバランスについて理解し、生物多様性の保全の重要性を知らせる。	環境と生物のかかわりを考え、持続可能な地球環境を自らの手で作り出す大切さを知る。	生態系に与える人間生活の影響やグローバルな地球環境問題について関心を持つ。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
生物や生物現象に関する概念や原理・法則を理解できる。科学的に探求するために必要な技能が身につく。	生物と生物現象に関わる基礎的な力を持ち、科学的に探求する態度が身につく。	日常生活や社会との関連を図りながら、声明を尊重し自然環境の保全に寄与する態度が深まる。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	地学基礎				
科目コード	5048	科目区分	理科	単位数	2
学習教材	東京書籍「地学基礎」(地基701)				
担当教員	本井・荒蒔・後藤				

目標
地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1	1	地球の形について、地球が赤道方向に膨らんだ回転楕円体であることを理解する。	大地とその動きについて学ばせる。	地球の形について、地球が赤道方向に膨らんだ回転楕円体であることを理解することが出来る
		2	世界の火山分布図から、火山の分布が3つに区分できることに気づく。	火山噴火の多様性や火成岩について学ばせる。	世界の火山分布図から、火山の分布が3つに区分できることに気づくことが出来る
	2	3	地球の熱収支は、地球全体でみるとつり合っていることを理解する。	地球大気の大気構造や大気で起こる現象について学ばせる。	地球の熱収支は、地球全体でみるとつり合っていることを理解することが出来る
		4	深層循環が地球規模の気候の安定や変動に影響を与えていることを理解する。	大気や海水の運動の原因や大気の大循環について学ばせる。	深層循環が地球規模の気候の安定や変動に影響を与えていることを理解することが出来る
	3		大気と海洋の流れにはどのような流れがあるかまとめ、関連性を見いだす。	海水とその運動や大気と海洋の相互作用について学ばせる。	大気と海洋の流れにはどのような流れがあるかまとめ、関連性を見いだすことが出来る。
後期	4	1	地球の特徴を整理し、なぜ、地球で生命が生まれ、繁栄できたのかを話し合い発表する	宇宙の構造と進化について学ばせる。	地球の特徴を整理し、なぜ、地球で生命が生まれ、繁栄できたのかを話し合い発表することが出来る
		2	地層に見られる化石からわかることを整理し理解する	地層と化石の観察について学ばせる。	地層に見られる化石からわかることを整理し理解することができる。
	5		酸素濃度の変化とこれまで学習してきた地球環境や生物の変遷を振り返り、気がついたことをグループでまとめ発表する。	古生物の変遷と地球環境について学ばせる。	酸素濃度の変化とこれまで学習してきた地球環境や生物の変遷を振り返り、気がついたことをグループでまとめ発表すること
		3	地震が起こったときに、どのようにすれば被害を減らすことができるようになるか考えて発表する。	日本の自然の恵みと防災について学ばせる。	地震が起こったときに、どのようにすれば被害を減らすことができるようになるか考えて発表することができる
	6	4	地球温暖化問題について理解する。	自然環境の変動について学ばせる。	地球温暖化問題について理解することが出来る

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けようとする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の

宗、夫族はこれに因する基平時は技能を身に付けるよりにする

トテフシマノノミナシ

保全に寄与する態度を養う

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	音楽Ⅰ				
科目コード	7021	科目区分	必履修	単位数	2
学習教材	教育出版「音楽Ⅰ Tutti+」(音Ⅰ 701)				
担当教員	菅田				

目標
音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成すると共に、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育成する。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		日本歌曲や諸外国の歌曲と出会い、歌うことの充実感を味わう。	・「この道」「故郷」それぞれの楽曲を理解し、適切な歌唱表現で歌う。 ・「Caro mio ben」「野ばら」それぞれの楽曲を理解し、適切な歌唱表現で歌う。	それぞれの歌曲の良さを理解することができたか。
		1	校歌を歌い、音程感覚やリズム感を養うとともに、所属感を醸成する。	・校歌の歌詞を理解する。 ・校歌を歌えるようにする。	校歌の歌詞を理解した上で歌唱できているか。
	2		リコーダーやギター、ドラムセットと出会い、適切な演奏方法を理解する。	・リコーダーの歴史と各パーツの名称を理解する。 ・ギターの種類とそれぞれの特徴を理解する。 ・ドラムセットの叩き方を理解する。	それぞれの楽器の奏法について正しく理解できているか。
		2	自分の好きな楽曲を通して、楽曲を形づくっている要素を理解し、自分がどの要素を意識して視聴しているかを認識する。	・楽曲を形づくっている要素について理解する。 ・楽曲を視聴し、意識している要素を把握する。 ・自分の好きな楽曲の要素の共通点を考える。	楽曲を形づくっている要素を意識して楽曲を分析できているか。
	3		日本の伝統芸能について触れ、日本文化の良さを味わう。	・箏、三味線、三線の歴史と各パーツの名称を理解する。 ・雅楽について理解する。	日本の伝統芸能に興味関心を持って接することができているか。

	3	自分の好きな楽曲を、楽曲を形づくっている要素を理解したうえで他人に分かりやすく楽曲の良さを伝えることができるようにする。	・好きな楽曲の紹介文を作成する。	楽曲を自分の言葉で分かりやすく紹介できているか。
	4	ロマン派の時代背景や楽曲に触れ、それぞれの楽曲の良さを自分の言葉で表現できるようにする。	NHK高校講座「第17回 二極化するロマン派音楽 ～西洋音楽の歴史と鑑賞(4)～」を視聴し、分かったことや感想を書く。	ロマン派について理解を深められているか。
後期	4	バロック時代の音楽に触れ、時代背景や楽曲の特徴を理解する。	・バロック時代の時代背景を理解する。 ・バロック時代に活躍した人物に触れ、それぞれの楽曲の特徴を理解する。	時代背景や楽曲の特徴を理解できているか。
	5	バレエ音楽を視聴し、話し合いを通してそれぞれの楽曲の良さを味わう。	・「白鳥の湖」と「火の鳥」を視聴し、それぞれの楽曲の違いを話し合いを通して理解する。	バレエ音楽に興味関心を持って視聴し、話し合いをしているか。
	5	古典派の音楽に触れ、時代背景や特徴を理解する。	・古典派の時代背景を理解する。 ・古典派に活躍した人物に触れ、それぞれの楽曲の特徴を理解する。	時代背景や自分物について理解を深めることができているか。
	6	ミュージカルを視聴し、話し合いを通してそれぞれの楽曲の良さを味わう。	「オペラ座の怪人」と「キャッツ」を視聴し、それぞれの楽曲の違いを話し合いを通して理解する。	ミュージカルの良さや特徴を理解しようとしているか。
	6	近代・現代の音楽に触れ、国ごとにある楽曲の特徴や時代背景などから、楽曲を考察できるようにする。	・近代における国ごとの特徴を理解する。 ・現代における楽曲の特徴と今後の音楽の展望を考察する。	近代・現代の音楽について理解を深めることができているか。
	7	ゲーム音楽を視聴し、話し合いを通してそれぞれの楽曲の良さを味わう。また、製作者の思いや意図を感じ取ることができるようにする。	「ドラゴンクエスト」「スーパーマリオブラザーズ」の楽曲を視聴し、それぞれの楽曲の違いや製作された背景を考察する。	製作者の思いや意図を理解しようとしているか。

		8	日常生活にあふれている音楽について理解し、今後の生活に音楽を取り入れていくことでより彩りのある生活を目指す。	NHK高校講座「第42回 エピローグ ～もっと音楽を楽しむために～」を視聴し、これからの人生にどのように音楽を取り入れていくのかを考察する。	自分の人生をより良いものにするために音楽を活用しようとしているか。
--	--	---	--	--	-----------------------------------

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
楽曲の文化的・歴史的背景について、また、音楽のテクスチャについて理解を深めた上で、それぞれの楽曲についてより深く考察するための知識・技能を習得しようとしているか。	音楽の良さや美しさについて感じ取り、楽曲の価値を見出す感性を醸成しているか。また、授業で習得した知識・技能を用いて楽曲を的確に感受して思考する過程を通して、創造的な表現力と鑑賞力を伸ばせているか。	音楽と日常生活との関わりについて興味関心を持ち、人生をより良い方向に自らが導いていくために、主体的に学習に取り組むことができているか。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	英語コミュニケーションⅠ				
科目コード	8111	科目区分	外国語科	単位数	3
学習教材	教科書 『All Aboard!』 (東京書籍)				
担当教員	河野 邦弘 北村 由緒子 志田 充子				

目標
各Lessonで取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、幅広い知識と教養を身に付ける。自分の考えをまとめる活動を設け、自己表現の力を養う。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
	1	1	- 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 - be動詞と一般動詞の過去形について学習する。 - 好きな朝食について考える。 - 自己紹介文が書ける。	- 世界の朝食の写真 - 本文内容の理解 - 単語、熟語の説明 - ワークシート - リスニング	- be動詞、一般動詞の過去形について理解している。 - 世界の朝食に興味を持って、自分の朝食について考える。 - 自己紹介の文章が書ける。
	2	2	- オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 - 進行形：be動詞＋動詞の-ing形 - 好きな動物について、好きな理由も含めて自分の考えを述べるができる。	- 教科書で紹介されている動物の写真 - 本文内容の理解 - 単語、熟語の説明 - ワークシート - リスニング	- 進行形(be動詞＋動詞の-ing形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 - オーストラリアに生息する野生動物について学び、世界の動物についても、自分の好きな動物、その理由などが表現できる。

3	3	- 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。 - 助動詞：can, willの用法 - 地元で働くことと、地元以外で働くことについて考える。	- 本文内容の理解 - 単語、熟語の説明 - ワークシート - リスニング	- 助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解している。 - 被災地域で働く列車運転士の職業観について知ることと、自分が将来どこでどのように働いてみたいか考え、表現することができる。
4	4	- 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 - to不定詞：to + 動詞の原形 - 行ってみたい場所について、理由も含めて述べる。	- 本文内容の理解 - 単語、熟語の説明 - ワークシート - リスニング	- to不定詞(to + 動詞の原形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 - ウユニ塩原について学んだり、将来言ってみよう場所について自分の考えをまとめ、表現できる。
5	5	- 高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。 - 動名詞：動詞の-ing形 - 自分が今好きなことや得意なことを考え、将来の夢につながるかを考える。	- 本文内容の理解 - 単語、熟語の説明 - ワークシート - リスニング	- 動名詞(動詞の-ing形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 - 部活動で活躍する高校生を知ることと、今自分が楽しんでいること、将来のことについて考えることができる。

		6	前期まとめ	前期で学習した内容を振り返る	be動詞、一般動詞、文の形、時制、助動詞、to不定詞について意味・用法を理解している。
	6	7	- 江戸時代の浮世絵師，歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 - 受け身：be動詞＋過去分詞 - 好きな絵について，理由も含めて自分の意見を述べる。	- 浮世絵について調べる - 本文内容の理解 - 単語、熟語の説明 - ワークシート - リスニング	- 受け身(be動詞＋過去分詞)を用いた文の形、意味、用法を理解している。 - 歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について読んだことを活用しながら，自分が好きな絵とその理由について表現できる。
	7	8	- アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して，生きることの意味について考える。 - 比較表現：(-er)(the -est)(as＋原級＋as) - 関心のある人物について調べ、自分の考えをまとめて表現する。	- 関心のある人物について調べる - 本文内容の理解 - 単語、熟語の説明 - ワークシート - リスニング	- 比較表現(-er)(the -est)(as＋原級＋as)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 - アンネ・フランクについて学んだり，関心のある人物について調べ、自分の考えをまとめて表現できる。
	8	9	- ロボットカフェを紹介する実況中継を通して，ロボットの可能性について考える。 - 現在完了形：(have[has]＋過去分詞)	- 様々なロボットについて調べる - 本文内容の理解 - 単語、熟語の説明	- 現在完了形(have[has]＋過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している - ロボットについて

後期			ロボット ・ 人の生活を豊かにするロボットについて考えるとともに、ロボットの可能性についても自分の考えをまとめる。	単語、スラッシュアウト ・ ワークシート ・ リスニング	て自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する。
	9	10	・ プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 ・ 名詞を後ろから説明する分詞 ・ 環境を守るためにできることについて調べ、考えをまとめて表現する。	名詞を後ろから説明する分詞について、小テスト形式で学習する。	・ 「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形、意味、用法を理解している。 ・ プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、環境問題について調べて自分の考えをまとめて表現できる。
	10	11	・ 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。 ・ 関係代名詞：who, which ・ 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、自分の考えをまとめ、表現する。	関係代名詞who, whichについて、小テスト形式で学習する。	・ 関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・ 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、自分の考えをまとめ、表現できる。
		12	後期まとめ	後期で学習した内容を振り返る	受け身、比較表現、完了形、分詞、関係詞について意味・用法を理解している。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
・ 文法の意味を理解している。・ 内	本文の概要を捉えている 自分の調	本文の概要を捉えようとしている。

容を読み取る技能を身につけている。 ・自分の考えをまとめる技能を	平入の彼女と接している。ロカンの調べた情報や考えを伝え合っている。	自分の調べた情報や考えを伝え合おうとしている。
-------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	英語コミュニケーションⅡ				
科目コード	8112	科目区分	外国語科	単位数	4
学習教材	教科書 『All Aboard! English Communication Ⅱ』 (東京書籍)				
担当教員	河野 邦弘 志田 充子 北村 由緒子				

目標
各Lessonで取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、幅広い知識と教養を身に付ける。自分の考えをまとめる活動を設け、自己表現の力を養う。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
	1	1	・ イタリアのブラーノ島の特色について学習する。・ 関係代名詞what・ 海外で行ってみたい場所について、自分の考えをまとめ、表現する。	・ ブラーノ島動画視聴・ 本文内容の理解・ 単語、熟語の説明・ ワークシート・ リスニング	・ 関係代名詞 what を用いた文の形と意味を理解している。・ 海外の観光地 について学び、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて自分の考えをまとめ、表現できる。
	2	2	・ ラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。・ 比較表現：more, the most・ 自分の好きな曲について理由も含め考えをまとめ、表現する。	・ 教科書で紹介されているバンドの音源・ 本文内容の理解・ 単語、熟語の説明・ ワークシート・ リスニング	・ 比較表現 more、the most を用いた文の形と意味を理解している。・ 世代を超えて人気のある音楽バンドについて理解している。・ 自分の好きな曲について、理由を含め自分の考えをまとめて表現できる。

前期

3	3	・ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。 ・it（仮主語）の用法・身近な行事について自分の考えをまとめ、表現する。	・世界や日本の奇祭画像・本文内容の理解・単語、熟語の説明・ワークシート・リスニング	・it を用いた文〈It is … (for —) to ~〉〈It is … that ~〉の形と意味を理解している。 ・ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学び、身近な行事について自分の考えをまとめ、表現できる。
4	4	・世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して、不断の努力と不屈の心について考える。 ・間接疑問文・知らない物語の展開を予想し、自分の考えをまとめ、表現する。	・本文内容の理解・単語、熟語の説明・ワークシート・リスニング	・間接疑問文の形と意味を理解している。 ・ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、初めて触れる物語について考え、主題が何か自分の考えをまとめて表現できる。
5	5	・日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。 ・to 不定詞を含む表現・日本の伝統文化について、自分の考えをまとめ、表現する。	日本の伝統文化について、小テスト形式で学習する。	・to 不定詞を含む表現を用いた文の形と意味を理解している。 ・歌舞伎と隈取について学んだり、日本の伝統文化について自分の考えをまとめ、表現できる。

6	6	前期まとめ	前期で学習した内容を振り返る	関係代名詞 what、比較表現、itの用法について意味・用法を理解している。
	7	前期まとめ	前期で学習した内容を振り返る	間接疑問文、to不定詞を含む表現、動詞の形について意味・用法を理解している。
	8	動詞の目的語になるif節（wonder + if …）を使い、気になることについて「…かどうかと思う」と伝える。	NHK高校講座【第21回 Seeds for Future Generations (2)】を視聴し、学んだことや感じたことをまとめる。	動詞の目的語になるif節（wonder + if …）を使い、気になることについて「…かどうかと思う」と伝えることができる。
7	9	・海外の高校生に向けた伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継続について考える。・動詞の目的語になる if 節・地元の特産物について自分の考えをまとめ、表現する。	・自分の地域の特産物調べ・本文内容の理解・単語、熟語の説明・ワークシート・リスニング	・動詞の目的語になるif節を用いた文の形と意味を理解している。・京野菜について学んだり、地元の特産物について調べ、自分の考えをまとめて表現できる。

8	10	・世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について学習する。・関係副詞（where、when）・世界の人々と交流する方法について、自分の考えをまとめ、表現する。	・世界で活躍する人物調べ・本文内容の理解・単語、熟語の説明・ワークシート・リスニング	・関係副詞 where、whenを用いた文の形と意味を理解している。・世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べ、自分の考えをまとめて表現できる。
9	11	・生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して、自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。・知覚動詞・自然界にある形や色で美しいと思うものについて自分の考えをまとめ、表現する。	・生体模倣についての学習・本文内容の理解・単語、熟語の説明・ワークシート・リスニング	・知覚動詞を用いた文の形と意味を理解している。・生物模倣について学び、自然界のデザインについて自分の考えをまとめ、表現できる。
10	12	・チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して、カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について学習する。・使役動詞・社会的な問題について自分の考えをまとめ、表現する。	・チョコレートの製造過程について・本文内容の理解・単語、熟語の説明・ワークシート・リスニング	・使役動詞を用いた文の形と意味を理解している。・チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学び、世界の社会問題について調べ、自分の考えをまとめて表現できる。

11	13	・医療と看護の発展に一生を捧げた ナイチンゲールの生涯について学習 する。・分詞構文・人を助ける職 業について、自分の考えをまとめ、 表現する。	・ナイチンゲールについて・本文内 容の理解・単語、熟語の説明・ワー クシート・リスニング	・分詞構文を用い た文の形と意味を 理解している。・ ナイチンゲールの 生涯について学ん び、人を助ける職 業について調べ、 自分の考えをまと めて表現できる。
12	14	後期まとめ	後期で学習した内容を振り返る	動詞の目的語にな るif節、関係副 詞、知覚動詞につ いて意味・用法を 理解している。
	15	後期まとめ	後期で学習した内容を振り返る	使役動詞、分詞構 文について意味・ 用法を理解してい る。
	16	「使役動詞 (let) 」の形を使い、 「…させてください」という許可を 求める表現をする。	NHK高校講座【第34回 The Bitter Truth behind Chocolate (3)】を視 聴し、学んだことや感じたことをま とめる。	「使役動詞 (let) 」の形を 使い、「…させて ください」という 許可を求める表現 ができる。

評価

①知識・技能

②思考力・判断力・表現力

③主体的に学習に取り組む態度

・文法の意味を理解している。・内容を読み取る技能を身につけている。・自分の考えをまとめる技能を身につけている。	本文の概要を捉えている。自分の調べた情報や考えを伝え合っている。	本文の概要を捉えようとしている。自分の調べた情報や考えを伝え合おうとしている。
--	---	--

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	英語コミュニケーションⅢ				
科目コード	8113	科目区分	外国語科	単位数	4
学習教材	教科書 『All Aboard! English Communication Ⅲ』（東京書籍）				
担当教員	河野 邦弘 北村 由緒子 志田 充子				

目標
必要な情報を聞き取りや読み取りを通して話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1	1	ガウディが設計した建築物の概念や特徴と、バルセロナにおけるその意味について学習する。	建築物の概念や特徴について、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	海外の有名な建築物に関して、相手の意見を知り自分の考えをまとめることができる。
	2	2	北海道の野生動物観察ツアーガイドの説明を通して、エゾモモンガやアイヌの人々について学習する。	野生動物の生態について、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	野生動物に関して、相手の意見を知り自分の考えをまとめることができる。
	3	3	衣服の働きと自己表現としてのファッションについて学習する。	ファッションの持つ働きと自己表現について、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	ファッションに関して、相手の意見を知り自分の考えをまとめることができる。
	4	4	コオロギを使用する昆虫食についての対話を通して、食糧問題について学習する。	昆虫食に関する食糧問題について、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	昆虫食に関して、相手の意見を知り自分の考えをまとめることができる。
	5	5	マダガスカルの自然と人々の生活を通して、地球環境や生態系について考える。	地地球環境や生態系について、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	生態系に関して、相手の意見を知り自分の考えをまとめることができる。

	6	6	前期まとめ	前期で学習した内容を振り返る	Lesson1～3までの表現についてについて意味・用法を理解している。
		7	前期まとめ	前期で学習した内容を振り返る	Lesson4～5までの表現についてについて意味・用法を理解している。
		8	使役動詞を使って、ファッションについて英語でインタビューをすることができる。	NHK高校講座【第6回 (1) Your True Colors】を視聴し、学んだことや感じたことをまとめる。	使役動詞を使って、ファッションについて英語で表現できる。
後期	7	9	古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学習する。	秦の始皇帝について、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	関係代名詞を使って、訪れてみたい史跡について自分の考えをまとめることができる。
	8	10	地球温暖化と再生可能エネルギーについての発表を通して、エネルギー問題とその解決策について学習する。	地球温暖化と再生可能エネルギーについて、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	比較表現を使って、国や地域を比較して再生可能エネルギーについて自分の考えをまとめることができる。
	9	11	原爆投下により被爆した広島路面電車とその運転士だった女子生徒の経験を通して、平和の大切さについて考える。	原爆投下を経た現在の広島について、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	分詞を使って、経験したことや考えたことについてまとめることができる。
	10	12	海外の高校生に向けたオンラインでの発表を通して、雷の発生のしくみや避難方法、地球温暖化との関係などについて学習する。	雷発生の仕組みや避難方法、地球温暖化について、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	関係代名詞whoseを使って、電気の有効活用について自分の考えをまとめることができる。

11	13	人種差別の壁を越えて、米国の宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ人数学者、キャサリン・ジョンソンと差別の問題について学習する。	社会に影響を与えた人物について、ワークシートを用いてリスニング・リーディング・小テストを通して理解する。	仮定法過去を使って、社会に影響を与えた人物について自分の考えをまとめることができる。
12	14	後期まとめ	後期で学習した内容を振り返る	
	15	後期まとめ	後期で学習した内容を振り返る	
	16	It is ~ to不定詞を使って、昆虫食の普及について考えを述べることができる。	NHK高校講座【第10回 (3) Our Future Food?】を視聴し、学んだことや感想をまとめる。	It is ~to不定詞を使って自分の考えをまとめることができる。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
文法を用いた的確な表現をすることができる。	英文を読んで、相手の意見を読み取り、自分の考えをまとめることができる。	英語で内容を読み取ったり、自分の考えをまとめるにあたり、自ら調べ、問いを立て、自分なりの解釈を持って取り組むことができる。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	論理表現Ⅰ				
科目コード	8114	科目区分	外国語科	単位数	2
学習教材	教科書 『NEW FAVORITE English Logic and ExpressionⅠ』（東京書籍）				
担当教員	河野 邦弘 北村 由緒子 志田 充子				

目標

必要な情報を聞き取りや読み取りを通して話し手の意図を把握したり、自分の考えを適切に表現できる。

学習計画

前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
	1	1	留学先での初めての食事の場面で自分の考えを相手に伝える。	食事での褒める、勧める、断る表現を、リスニング、及びワークシートを使って考え、発表する。	褒める、勧める、断るときの表現の形・意味・用法を理解している。学んだ知識を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。
	2	2	道に迷った・道を案内する場面で、自分の考えを相手に伝える。	提案する、アドバイスする表現を、リスニング、及びワークシートを使って考え、発表する。	提案する、依頼する、道順を説明するときの表現の形・意味・用法を理解している。学んだ知識を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。
	3	3	身近な人を紹介する場面で、自分の考えを相手に伝える。	紹介する、説明する表現を、リスニング、及びワークシートを使って考え、発表する。	身近な人を紹介する、聞き手や読み手の注意を引くときの表現の形・意味・用法を理解している。学んだ知識を用いて、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。
		4	買い物の場面で、自分の考えを伝える。	描写する、相槌を打つ表現を、リスニング、及びワークシートを使って	描写する、相づちを打つときの表現の形・意味・用法を理解している。学んだ知識を適切に運用し、自分の

			る。	ー、及びワークシートを使って考え、発表する。	の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。
後期	4	5	行ってみたい場所を紹介する場面で、自分の考えを相手に伝える。	希望を述べる、理由を述べる表現を、リスニング、及びワークシートを使って考え、発表する。	希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解している。学んだ知識を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている
	5	6	イベントに誘ったり、誘われたりする場面で、自分の考えを相手に伝える。	誘う、誘いを受ける、誘いを断る表現を、リスニング、及びワークシートを使って考え、発表する。	誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解している。学んだ知識を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。
	6	7	自分のお気に入りを紹介する場面で、自分の考えを相手に伝える。	映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるときの表現を、リスニング、及びワークシートを使って考え、発表する。	映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるときの表現の形・意味・用法を理解している。学んだ知識を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。
		8	待ち合わせに遅刻したときの場面で、自分の考えを相手に伝える。	リスニング、及びワークシートを使って利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変えるときの表現を学び、自分の考えや気持ちなどを表現する。	謝る、許す、励ますときの表現の形・意味・用法を理解している。学んだ知識を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
相手に伝える、説明する表現を運用できる。	相手の意見を読み取り、自分の考えをまとめることができる。	自分の考えをまとめるにあたり、自ら調べ、問いを立て、自分なりの解釈を持って取り組むことができる。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	体育				
科目コード	6011	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	現代高等保健体育（大修館書店）				
担当教員	磯寄康孝、芦間雄太				

目標
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		ルールや技術、戦術を学び、競技について関心を深める。	「バスケットボール」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		ルールや技術、戦術を学び、競技について関心を深める。	「サッカー」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	実技を通してルールや技術を学び、運動に関する関心を高める。協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てる	「卓球」 実技	周囲と協働してルールや技術の習得について主体的に取り組もうとしている。
		2		「バドミントン」 実技	周囲と協働してルールや技術の習得について主体的に取り組もうとしている。
		3	・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。	「スポーツの始まりと変遷」 講義、ワークシート、探究学習	・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。
		4	・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。	「文化としてのスポーツ」 講義、ワークシート、探究学習	
		5	・パラリンピックの価値について具体例をあげながら、パラリンピックの意義について説明できる。	「オリンピックとパラリンピックの意義」 講義、ワークシート、探究学習	
	3		ルールや技術、戦術を学び、競技について関心を深める。	「野球」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	4		ルールや技術、戦術を学び、競技について関心を深める。	「水泳」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		6	実技を通してルールや技術を学び、運動に関する関心を高める。協同の経験を通して、公正に取り組	「バスケットボール」 実技	周囲と協働してルールや技術の習得について主体的に取り組もうとしている。

後期		7	組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てる	「卓球」 実技	周囲と協働してルールや技術の習得について主体的に取り組もうとしている。
		8	スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているのかを説明できる。	「スポーツが経済に及ぼす効果」 講義、ワークシート、探究学習	スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、考えを深めている。
		9	・スポーツの高潔さを脅かす要因について説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になりうるかを説明できる。	「スポーツの高潔さとドーピング」 講義、ワークシート、探究学習	
		10	スポーツにおける環境問題について説明できる。	「スポーツと環境」 講義、ワークシート、探究学習	

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見すること。	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	体育				
科目コード	6011	科目区分	必修	単位数	3
学習教材	現代高等保健体育（大修館書店）				
担当教員	磯寄康孝、芦間雄太				

目標
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		ルールや技術、戦術を学び、競技について関心を深める。	「バスケットボール」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		ルールや技術、戦術を学び、競技について関心を深める。	「サッカー」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	実技を通してルールや技術を学び、運動に関する関心を高める。協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てる	「卓球」 実技	周囲と協働してルールや技術の習得について主体的に取り組もうとしている。
		2		「バドミントン」 実技	周囲と協働してルールや技術の習得について主体的に取り組もうとしている。
		3	・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。	「スポーツの始まりと変遷」 講義、ワークシート、探究学習	・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。
		4	・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。	「文化としてのスポーツ」 講義、ワークシート、探究学習	
		5	・パラリンピックの価値について具体例をあげながら、パラリンピックの意義について説明できる。	「オリンピックとパラリンピックの意義」 講義、ワークシート、探究学習	
	3		ルールや技術、戦術を学び、競技について関心を深める。	「野球」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	4		ルールや技術、戦術を学び、競技について関心を深める。	「水泳」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		6	実技を通してルールや技術を学び、運動に関する関心を高める。協同の経験を通して、公正に取り組	「バスケットボール」 実技	周囲と協働してルールや技術の習得について主体的に取り組もうとしている。

後期		7	組む，互いに協力する，自己の役割を果たすなどの意欲を育てる	「卓球」 実技	周囲と協働してルールや技術の習得について主体的に取り組もうとしている。
		8	スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているのかを説明できる。	「スポーツが経済に及ぼす効果」 講義、ワークシート、探究学習	スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について，習得した知識を基に，持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて，考えを深めている。
		9	・スポーツの高潔さを脅かす要因について説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になりうるかを説明できる。	「スポーツの高潔さとドーピング」 講義、ワークシート、探究学習	
		10	スポーツにおける環境問題について説明できる。	「スポーツと環境」 講義、ワークシート、探究学習	

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
運動やスポーツの技能は，体力と相互に関連しており，技能は，身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について，概念と自己の状況を関連付けたりして，自己や社会についての課題を発見すること。	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとしている。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	保健				
科目コード	6012	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	現代高等保健体育（大修館書店）				
担当教員	磯寄康孝、芦間雄太				

目標
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。	「健康の考え方と成り立ち」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	2		・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。	「喫煙と健康」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	3		・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・現代社会における精神保健の課題をあげることができる。	「精神疾患の特徴」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		1	家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できるようにする。	「避妊法と人工妊娠中絶」 講義、ワークシート、探究学習	家族計画の重要性について考え、課題や解決方法など主体的に取り組もうとしている。
後期	4		・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。	「がんの原因と予防」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	5		・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	「思春期と健康」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
	6		・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。	「医療サービスとその活動」 レポート	内容をよく理解し、解答している。
		2	環境汚染による健康への影響について理解できるようにする。	「環境と健康にかかわる対策」 講義、ワークシート、探究学習	環境汚染と健康への影響について考え、課題や解決方法など主体的に取り組もうとしている。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	家庭基礎				
科目コード	9051	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	2 東書 家基701				
担当教員	宮田 みち子				

目標
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期		1	ライフステージごとの特徴・課題を理解する。自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。	人生を展望できるように、課題について考え、グループで意見交換・発表を行う。	自分事として、将来の生活設計を考え、意欲を持って取り組んだか。
	1		男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような青年期を生きるかを考えることができるようにする。	教科書を基にしたレポート学習。	現在の社会的状況について、興味を持って理解しようとしているか。
		2	超高齢社会の日本において、高齢者の経済不安と社会的孤立は深刻な問題となっているが、高齢者との共生社会を考える。	高齢者における生活の課題について考え、ワークシートを活用し、グループで意見交換・発表を行う。	高齢者の立場に立ち考えることができたか。
	2		高齢者、高齢社会、高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解すると共に、介護保険制度についても理解する。	教科書を基にしたレポート学習。	高齢者の心身の変化による生活行動や介護の課題について理解できたか
後期		3	自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解し、健康で豊かな食生活をはぐくむための工夫を考える。	人生を展望できるように、課題について考え、ワークシートを活用し、グループで意見交換・発表を行う。	自分自身の食生活について関心を持ち、意欲的に改善・向上に努めようとしたか。
	3		栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。	教科書を基にしたレポート学習。	食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしているか。
		4	衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につけ快適な衣生活を送るための要因を理解する。	快適な衣生活を送る為の課題を考え、ワークシートを活用し、グループで意見交換・発表を行う。	自分の衣生活について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとしているか。
	4		住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。	教科書を基にしたレポート学習。	住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくりについて理解できたか。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	情報Ⅰ				
科目コード	10011	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	新編 2 東書 情Ⅰ701				
担当教員	宮田 みち子				

目標
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期		1	情報で問題を解決する考え方を身に付ける。	問題解決の改善点を考え、ワークシートを活用し、グループで意見交換・発表を行う。	情報社会の問題を主体的に発見し明確化し、解決策を考える活動ができたか。
	1		情報技術が人や社会に果たす役割と影響、情報モラルなどについて理解する。	教科書を基にしたレポート学習。	情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解できたか。
		2	目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝えられる。	効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を考え、ワークシートにまとめ、グループで意見交換・発表を通して、力を養う。	情報と情報技術を活用して、効果的なコミュニケーションを行うとする態度、情報社会に主体的に参画する態度があるか。
	2		情報技術の発展によるコミュニケーション手段の変化や工夫について理解する。	教科書を基にしたレポート学習。	情報伝達のメリットやデメリット・スピードの変化や伝達範囲について理解できたか。
後期		3	論理的思考の重要性を考え、プログラミングの概念理解を図る。	プログラミングの概要・各命令文及び動作の確認後、スマートフォンを使って、命令文を組み合わせての目的を達成するプログラミングの実行。	命令文を組み合わせた目的を達成するプログラミングの実行ができたか。
	3		コンピュータで情報が処理される仕組み・問題の発見・解決を理解する。	教科書を基にしたレポート学習。	コンピュータで情報が処理される仕組み・問題の発見・解決を理解できたか。
		4	情報通信ネットワークとデータの活用により、複雑な課題を効率的かつ効果的に解決する能力を養う。	データを使って解決したい問題を考え、グループで意見交換・発表を行う。	解決したい問題解決に、効率的・効果的にデータを活用できたか。
	4		データを蓄積・管理・提供する方法やデータを収集・整理・分析する方法、情報セキュリティを確保する方法を理解する。	教科書を基にしたレポート学習。	目的に応じた活用を理解できたか。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	総合的な探究の時間【1学年】				
科目コード	40003	科目区分	必履修	単位数	2
学習教材	なし				
担当教員	各担任				

目標
「自己理解」「他者理解」「社会課題」について3年間を通して横断的に学ぶ過程から、VUCA時代を生き抜いていくために必要な非認知能力を育成していく。 1学年はとくに「自己理解」について、「自分らしさ」とは何かを学びながら理解を深めていく。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		地域の課題について考察する中で、自分にできることを考える。	・地域の課題をインターネットや書籍等で調べる。 ・自分にできることを考え、相手に分かりやすく伝える。	自分の現状を理解した上で、適切な解決策を模索できているか。
		1	自分らしく生きている人物と出会い、その人物の生き方から自分らしさとは何かを考える。	・Inspire High「自分らしさをどう見つける？」を視聴する。	自分らしさについて考えを巡らせているか。
後期	2		自己と向き合う中で、高校在学中に改善したい自分の弱みについて考える。	・自分の弱みについて理解する。 ・改善したい弱みについて、具体的な解消策を模索する。	自分の弱みに気づき、適切な解消策を考えられているか。
		2		・Inspire High「弱さはどう向き合う？」を視聴する。	自分の弱さについて考えを巡らせているか。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
探究活動に必要な情報や知識を獲得しているか。	自分で課題を設定し、考察しているか。	問題解決に向け、啓発的な提案をしているか。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	総合的な探究の時間【2学年】				
科目コード	40003	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	なし				
担当教員	各担任				

目標
「自己理解」「他者理解」「社会課題」について3年間を通して横断的に学ぶ過程から、VUCA時代を生き抜いていくために必要な非認知能力を育成していく。 2学年はとくに「他者理解」について、他者と協働する活動を通して理解を深めていく。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		地域の課題について考察する中で、自分たちにできることを考える。	・地域の課題をインターネットや書籍等で調べる。 ・自分たちにできることを考え、相手に分かりやすく伝える。	自分たちの現状を理解した上で、適切な解決策を模索できているか。
		1	失敗について考えながら、他者との関わり方について考える。	・Inspire High「失敗って怖いもの？」を視聴する。	失敗することについて考えを巡らせているか。
後期	2		他者と向き合う際に無意識に出てしまう自分の弱さについて考える。また、その弱さを他者との関りの中でどのように改善していくのかを考える。	・自分の弱みについて理解する。 ・改善したい弱みについて、他者との関わりを意識した上で具体的な改善策を提案する。	自分の弱みに気づき、適切な改善策を提案しているか。
		2		・Inspire High「弱さはどう向き合う？」を視聴する。	自分の弱さについて考えを巡らせているか。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
探究活動に必要な情報や知識を獲得しているか。	自分で課題を設定し、考察しているか。	問題解決に向け、啓発的な提案をしているか。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	総合的な探究の時間【3学年】				
科目コード	40003	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	なし				
担当教員	各担任				

目標
「自己理解」「他者理解」「社会課題」について3年間を通して横断的に学ぶ過程から、VUCA時代を生き抜いていくために必要な非認知能力を育成していく。 3学年はとくに「社会課題」について、社会との繋がりを意識した上で、具体的な解決策を模索していく。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		地域の課題について考察する中で、地域社会全体でできることを考察していく。	・地域の課題をインターネットや書籍等で調べる。 ・地域社会全体でできることを考え、相手に分かりやすく伝える。 ・スクーリングではグループワークを実施し、意見交換を行う。	地域の課題を的確に捉え、改善しようとする意志が感じられるか。
		1			
後期	2		改善が困難に思われる社会課題について考察していく中で、本当に改善策はないのか、グループワークなどを通して理解を深めていく。	・困難と思われる社会課題について考える。 ・改善策を模索する。 ・スクーリングではグループワークを実施し、様々な視点から一つの課題について考察していく。	困難に思われる課題と向き合い、より良い方策を考えているか。
		2			

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
探究活動に必要な情報や知識を獲得しているか。	自分で課題を設定し、考察しているか。	問題解決に向け、啓発的な提案をしているか。